

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の医療水準と患者 QOL の向上に資する研究

研究分担者 坂田 泰彦 国立循環器病研究センター 臨床研究開発部・部長

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症(Triglyceride deposit cardiomyovasculopathy, TGCV) は、中性脂肪が心筋と冠動脈に蓄積して重症心不全・不整脈・冠動脈疾患をきたす難病であり、2008年に本邦より提唱された新しい疾患である。2009年から本疾患に対する検査法・診断・治療について研究が行われてきたが、2022年度は引き続き、TGCVの診療体制の構築を行った。

A. 研究目的

TGCVの診療体制を構築する。

B. 研究方法

東北大学病院においてTGCV診療体制を構築するとともに、過去にTGCVと診断された症例において「TGCV診断基準2020」に則り再度診断を行う。

（倫理面への配慮）

研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）を頂き、症例登録を行う。

C. 研究結果

TGCV診療確立のため、外来患者、入院患者よりTGCVが疑われる患者をリクルートし、診断基準に則り診断する体制を確立した。2022年は新たに4症例を診断し

した。

D. 考察

TGCVは希少疾患であり、疑い症例を確実に検査し、診断していくことで症例数を積み重ねる必要がある。また、今後疾患概念の普及を行い、紹介症例を増やすことが必要である。

E. 結論

国立循環器病研究センターでもTGCV症例を新たに診断した。今後も引き続き診療体制を構築していく。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表  
なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

該当せず

2. 実用新案登録

該当せず

3. その他

該当せず